



シンギュラリティは 2018年に……



代表取締役社長
井口宗久

皆様、新年明けましておめでとうございます。
昨年は国内、海外ともに景況は比較的悪くなく、日経平均株価も21年ぶりの2万2千円台を突破いたしました。一方で技術進歩に目を向けるとAIの発展がきわめて著しく、タイトルにあるシンギュラリティ（人口知能が人間の脳を超える）という言葉についてこの一年間で非常に多く耳にするようになりました。一般には2045年頃と言われていますが、既に到達しているにとらえる脳科学者の方もいますし、ソフトバンクの孫正義さんは2018年に起きると話しています。いずれにせよ2018年も様々な物事が目まぐるしく変化し、また工業界でのIT技術の活用、AIなどの技術革新も想像以上にスピードを増すのではと考えております。

当社ではこの数年間でこれまで予想もしなかった出来事が発生し、あるいは徐々に進行するであろうと考えていたことが想定以上に一気に進むこともありました。2018年も想定外の様々なことが発生することかもしれません。

また、今年10月には当社は70周年を迎えますが、その節目を前にしてチャレンジすべきことが盛り沢山にあります。予想しない出来事もきっと

発生するであろう中で、全部が滞りなく出来るか、正直に言えば分かりませんが、商社として新しい商材、新しいお客様を創出し続けることは命題です。70年間の歴史の上に新しい歴史を築けるように2018年も全社一丸で必死の活動をしてまいります。

■ 2017年9月期の決算について

(2017年9月期決算概要)

- ・売上高：47億53百万（前期比3%増）
- ・営業利益：1億35百万（32%増）
- ・経常利益：1億67百万円（16%増）

前期につきましては、期中よりお客様全体の生産が増加したこと、工作機械関係、ロボットをはじめとするFA関係の設備受注ができたことにより増収増益で着地をすることができました。

■ 2018年度の取組について

計画値としては、売上高は3%増の49億、利益について2%ほどの利益率での着地を目指してお

ります。全般的な足元の環境は悪くない状況ですが、将来の市場変化に備えて下記の重点取組を全社で進めてまいります。

ロボット、自動化機器の 更なる拡販

ロボットについて、当社は数十年前から販売はしていますが、もっとロボット強い商社になることを目指して専門部隊の「ロボット推進室」を2016年に立ち上げ、この一年間の活動成果としては、ロボット、自動化関連機器の全社の売上は約1.5倍に拡大いたしました。

非常に大型案件を納入できた一方でお客様には多大なご指導、ご支援をいただいております改めて厚く御礼を申し上げます。

今後の展開といたしましては、商社として経験、ネットワークを活かしてロボットに限らず当社が取引する様々な機器メーカーさんと一緒に幅広く自動化の取組を進めてまいります。

また別項で詳細をご案内いたしますが、**1月17日から東京ビッグサイトで開催されるロボット関連の展示会「ロボテックス」に出展いたします。**

ロボット、FA関連市場は間違いなく今後も急拡大し、商社がコーディネーターとして介在する意義がある商材だと思いますので、更なる飛躍を目指して取り組んでいきます。

中国製鋳造部品の 展開本格化

当社の中国製品の取り扱いには工具関係からスタートし、現在は鋳造部品に展開しております。鋳造部品はこれまでは建機メーカーさん向けへの供給が中心でしたが、もっと鋳造部品を強化しようと考え、昨年に機械要素技術展に出展し、その成果として半導体装置関連、自動車部品のお客様から案件をいただき進めております。ご提案できるメー

カーも当初は限られていましたが、現地のリサーチ、提携により材種、サイズ、業種によって最適選択ができるようになってきております。ご関心があるお客様には是非中国メーカーをご視察いただき採用検討に向けて一緒に取組をさせていただきたいと考えています。

新規開拓、 対応エリアの拡大

新規開拓は企業としてやって当然ですが、これまで全くできておらず3年ほど前から全社をあげて機械工具も部品も水処理もとにかく新規開拓をきちんとやろうということで進めており、前期は34社のお客様と新たに取引を開始することができました。今期についても新規のお客様からの売上比率5%を目標に活動をしてまいります。

そして、対応エリアの拡大については、来年年明け以降になりますが、**関西サテライトを開設いたします。**これは元々神奈川エリアにあった複数のお客様が関西への生産を移転する動きを受けて、引き続き当社から商品を安定供給するために開設することにいたしました。最初は最小限の体制でスタートいたしますが、徐々に拡大していければ良いと考えております。一方で関西の地場商社がひしめく中で、当社のどんな製品、どんなやり方が関西エリアで本当に通じるのか、慎重に検討しながら活動を進めて参ります。



ロボテックスの京ニブスイメージ